



あまっ子宣言を作成するために募った標語の優秀作品を考えた児童、生徒ら＝あま市美和公民館で

り、宣言の基になった標語を考えた児童や生徒らが、市美和公民館で表彰された。小中学校教諭や市教委担当者ら八人でつくる起草委員会が昨年、市内の小学五、六年生と中学生から標語を募集した。寄せられた四千以上の標語から文案を練り、各校の児童会や生徒会などの意見をとり入れて決定した。

宣言は、生命や伝統の大切さや学習する心構えなどを説く六つの文章で構成。「おもしろい」気持ちを大切にします」「命は一人ひとりの宝物です」といった文がつけられていくことを願っている」と呼び掛けた。

△優秀者は次の皆さん
長嶋翼(七宝小5) 大橋聖南(中3)

目寺小6 大西更紗(甚目寺南小6) 吉田実薫(甚目寺南小6) 大石優作(甚目寺東小6) 神田真奈(甚目寺西小5) 丸田彩乃(甚目寺南中3)

大変申し訳ない」と陳謝した。

きのうの議会
【あま市】再開。加藤

で書類送検 津島労働基準監督署は4日、最低賃金違反(賃金不払い)の疑いで名古屋市市中川区柳島町、緑化植物生産「ソーラ

製造業「アイ・アンド・ティー」と同社の男

基準監督署は4日、最低賃金違反(賃金不払い)の疑いで江南市

製菓業「アイ・アンド・ティー」と同社の男

製造業「アイ・アンド・ティー」と同社の男

製造業「アイ・アンド・ティー」と同社の男



障害があるさまざまな人が働く清須市春日屋敷の施設「セブンデイズファーム」は、ニンニクを栽培している。清須ゆかりの織田信長にちなんで、「信長ニンニク」と名付けて販売。市内を中心に、少しずつ買い求める人も増えている。

「信長ニンニク」人気上昇中

施設にあるビニールハウスで、土の代わりに敷き詰められた小さな軽石の間にニンニクの実を入れる。七月から働く中尾美と、二週間ほどで芽や根を含めて十センチ以上を収穫する。これを十個三百円で直売するほか、市内の朝市や飲食店にも売り出している。

障害者が社会で生活する機会を提供しようと、市内で建物維持管理業を営む後藤学さん(四七)が昨

年四月に施設をオープンさせた。今では、周辺の畑も近所の人から任せられた。二十人が小松菜やニンジンなども栽培している。七月から働く中尾美と、二週間ほどで芽や根を含めて十センチ以上を収穫する。これを十個三百円で直売するほか、市内の朝市や飲食店にも売り出している。

障害者が社会で生活する機会を提供しようと、市内で建物維持管理業を営む後藤学さん(四七)が昨年四月に施設をオープンさせた。今では、周辺の畑も近所の人から任せられた。二十人が小松菜やニンジンなども栽培している。七月から働く中尾美と、二週間ほどで芽や根を含めて十センチ以上を収穫する。これを十個三百円で直売するほか、市内の朝市や飲食店にも売り出している。

営む後藤学さん(四七)が昨年四月に施設をオープンさせた。今では、周辺の畑も近所の人から任せられた。二十人が小松菜やニンジンなども栽培している。七月から働く中尾美と、二週間ほどで芽や根を含めて十センチ以上を収穫する。これを十個三百円で直売するほか、市内の朝市や飲食店にも売り出している。